

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターバンビ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		～ 2026年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 17日		～ 2026年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・バンビでの療育の場を見ていただくことができる。	・訪問した時や情報交換時に、来所も可能であることを伝えられている。	・所属園の職員が来所しやすいように日程等の工夫をする。
2	・児発を利用している子の訪問に行っているので、療育と保育をつなげやすい。	・所属園での課題をバンビでの療育の課題や内容につなげていくようにしている。	・所属園にも負担のかからない連絡の取り方を工夫し、情報共有を充実させる。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先の状況により合わせた対応方法や大きな集団の中でのお子さんへの対応方法をお伝えすること。	・バンビと所属園の環境の違いについての理解がまだ十分とはいえない。	・訪問先や研修等でやり取りすることができる保育者の方からそれぞれの保育現場の状況を教えていただき、そこでできる対応方法を日頃から職員全体で考える。
2	・訪問時期の偏りを減らし、日程に余裕を持たせること。	・訪問のためのアセスメントは早く取り組めるようになったが、訪問に行き始める時期を早めることがまだできていない。そのため訪問の日程が偏り、職員配置をした後になって訪問を入れることが難しくなることもある。	・訪問の計画を早い時期にしっかりと立て、それに基づいて職員配置を行う。
3			